

青木島子ども未来プラン（案）修正版 資料の概要について

同封させていただいたA3版資料の主なポイントは、以下のとおりです。

1 基本的な考え方について

- ・子どもたちが放課後も校外に移動することなく、小学校で安全に伸び伸びと遊び、学べる環境を整えることや、住宅街の狭い道路に送迎車両が多く入り込むなどの諸課題を一体的に解決するためのプランを目指しております。
- ・今後予定されている北校舎の長寿命化改修や、移転新築を前提に調整中の保育園舎の活用を含め、本プランについては、児童の安全確保を第一に考えながら、保護者の利便性の向上、学校環境の向上も考慮し、5月にお示しした当初案から一部見直しを図りました。

2 具体的な方策について

(1) 「新しい水泳学習」移行に伴うプラザ送迎車両動線の改善整備等

- ・既に賛同いただきました①～③については、今年度から進めさせていただきます。
- ・正門前の駐車場については、皆様からの御意見を踏まえ、出入口を2か所とし、ロータリー化することにより、現在の送迎車両の動線（校庭と北校舎の間）と住環境の改善を図ってまいります。

(2) 多目的棟建設を核とした児童センターのプラザ統合に係る整備について

＜今回の修正版のポイント＞

- ・集会室使用を前提とした子どもプラザ統合については、合唱部の活動への影響を懸念する御意見をもとに学校とも相談した結果、新たに多目的棟を体育館東側に建設する案に修正しました。
- ・多目的棟を北校舎の長寿命化改修の工事期間中の新たな子どもプラザの専用居室（現在、児童センター機能の移転を想定）として使用することで、放課後、児童が学校内で移動でき、体育館や校庭、新たに整備する遊び場を利用できることとなります。
- ・また、合唱部もこれまでどおり集会室など学校の教室を使用できることとなります。
- ・このほか、御心配の意見のありました遊び場の地域開放につきましても、学校授業日は関係者以外立入禁止とし、遊具の設置に当たりましても、児童の意見を聴きながら整備することとしました。

(3) 長寿命化改修工事に係る環境整備について

- ・保育園舎については、現在、移転新築に向け、用地の交渉を進めております。
- ・当初、保育園舎だけでなく、園庭への仮設校舎建設も想定しておりましたが、工事期間中、児童が道路を横断することの安全性を考慮し、授業をすべて学校内の教室で対応できるよう見直しました。このため、特別教室（理科室、調理室）についても中庭への仮設整備としました。
- ・北校舎の長寿命化改修がすべて完了した後、最終的に西棟の教室をプラザ棟として専用的に利用できるスペースを確保してまいります。

3 スケジュールについて

①～⑥については今年度から工事に着手し、令和6年度の冬を目途に完了できるよう進めてまいりたいと考えております。